



とうめい news

2021.7.1
Vol.239

〒243-0034 厚木市船子237
TEL. 046-229-3377
発行 者:河野 昌史
編集責任者:和田 博貴
印 刷:(有)タイム21

ホームページアドレス <http://www.tomei.or.jp/clinic/>

野鳥 ホトトギス

全長：全長 28cm
日本では夏鳥で、九州以北で繁殖します。ホトトギスは主にウグイスの巣に卵を産み、ヒナを育ててもらいます。雄の声は「テッペンカケタカ」「特許許可局」などと聞きなされる。

TOPICS

ワクチン あれこれ

小児科:宮嶋 伸一郎

とうめいニュースをご覧の皆様、初めまして。小児科の宮嶋と申します。とうめい厚木クリニックにて小児科診療に携わっております。どうぞ宜しくお願い致します。

【はじめに】

2019年以降全世界で流行している新型コロナウイルス感染症は、“新しい生活様式”といった言葉に代表されるように、それまでの我々の暮らしを180度変えてしまうような大きな出来事となってしまいました。近所のスーパーへ買い物に行くのもマスク着用、ソーシャル・ディスタンス、緊急事態宣言などなど。テレビをつければどの局もコロナ、コロナ…です。毎日毎日、うんざりしてしまいますね。こうした、感染症との闘いは、冬場に猛威を振るうインフルエンザに代表される様に我々人類を悩ませてきました。感染症をいかに封じ込めるか、かからないようにするか、またかかっても軽く済ませる手段は無いのか、この様な事案の一つに、手段として挙げられるのが予防注射（ワクチン）と言えましょう。

【ワクチン接種についての課題】

我が国では現在、定期予防接種、任意予防接種と臨時予防接種の3つに分けられて実施されています。特に最近では色々な予防接種のおかげで、麻疹（はしか）や赤ちゃんの髄膜炎などが激減しています。20年程前までの我が国は、“はしか輸出大国”といった不名誉な称号を付けられた事も有りましたが、先人たちの尽力により完全に過去の病気となりつつあります。このことはワクチン接種が目覚ましい効果を上げた例だと言えましょう。

一方で、副反応と言った現象が大々的な出来事に報じられる事も有り、そのワクチンのみならず、あらゆる種類のワクチンを避けられる方がいらっしゃるのも事実です。また、“忙しくて、昼間や平日はムリ”、“待たされるし、風邪など病気を貰うからイヤ”、“種類が多すぎて、こんがらがっちゃいそう”等、様々なお声を頂戴します。こうした親御さんのご要望に答えるべく、多くの医療機関では、予約制や予防接種外来といった形をとり、風邪などで来院されたお子さんと接触しない様細心の注意を払っているところも少なく有りません。また、土曜日に接種できる施設も見受けられる様になりました。接種すべきワクチンの種類は、減らすことは出来ませんが、どの順番で接種すれば最短で都合良く終わることが出来るか等、様々な疑問にお答え出来るよう、我々も日々情報収集に努めております。

【終りに】

当院でも予防接種についてのご質問、ご要望などに、随時お答え出来るよう努めております。風邪で受診のついでに…等でも差し支えありませんので、ご遠慮なくご相談下さい。尚、今までの接種歴が必要となる事が有りますので、お尋ねの際は母子手帳を持参頂くと幸いです。

この様なご時世では有りますが、様々な疾病の予防という意味で予防接種は、大きな役割を担っています。お子様の輝ける未来のためにも、予防接種についてご一考頂けたら…と思います。

